

「第1回 赤堀川水辺再生検討会」が開催されました！！

【開催概要】

開催日時：平成22年7月30日（金） 9：30～11：30

開催場所：桶川工業団地協同組合 会議室

出席者：地元自治会の代表、工業団地の代表、県民提案者、桶川市、埼玉県 ほか

主な内容： 水辺再生100プランの概要説明
赤堀川県民提案の説明
赤堀川の現況の説明
赤堀川の課題の検討
アンケート調査の実施に向けた確認
今後の検討スケジュールについて



第1回検討会開催の様子

【第1回検討会の概要】

水辺再生100プランについて

埼玉県水辺再生課より、水辺再生100プランの説明がありました。

赤堀川の県民提案の説明

県民提案者より赤堀川の県民提案の説明をしていただきました。

県民提案内容

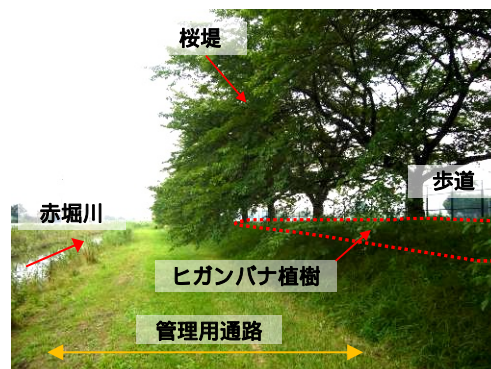
- ・親水護岸の整備をしてほしい。
- ・散策路の整備をしてほしい。
- ・「篠津さくらまつり」が毎年行われており、整備後も引き続き継続していきたい。
- ・清掃、美化活動等を行っており、整備後も引き続き継続していきたい。

赤堀川の現況の説明

赤堀川の現況について、現地写真などを交えて説明を行いました。

赤堀川の現況

- ・右岸側が上下2段に分かれ、上はアスファルト舗装されているが、下は舗装されていない。
- ・左岸側の大木が水面まで覆い被さっている箇所がある。
- ・桜堤の下にヒガンバナが植樹されている。
- ・弁財天が祀ってある。 など



【赤堀川の現況】

赤堀川の課題の検討

赤堀川の現況・課題として、以下のような意見が出されました。

親水性について

【歩行環境】

朝方、散策している人が多い。年配の方が座っていたりもする。
休憩施設は設置していない。(昔は休憩施設が設置してあったが、腐食したため撤去した。)
河川敷の大部分は土が剥き出しになっているため、雨天時などはぬかるんでしまい、歩きにくくなる。
調整池に近い部分では、河川敷が上下2段に分かれており、上はアスファルト舗装がされている。

【親水環境】

河川に入って親しむといった利用は少ない。
土手の傾斜が急であり、危険である為、河川の内側には近づけない。

水質について

【水質等】

夏場と冬場の水質は異なり、冬場は夏場に比べ汚い状態である。
上流から汚れた水やゴミ等が流入している。

景観について

【景観】

桜や彼岸花を觀賞するといった目的での利用が多い。
作り上げられた環境でなく、自然そのままを楽しむ環境として良い。
整備が入ることにより、自然環境・景観を壊したくない。
彼岸花の植栽区域に線を引いて出入りを禁ずるようなことは、“篠津らしい”取り組みとは言えない。
左岸側には屋敷林が茂っている。

生物について

【水生生物等】

河川にはミドリガメや桜・ヒガンバなど、たくさんの生物や植物が生息している。
5月頃には工業団地付近で菊(黄色)が咲く。

活動・利用について

【観光(さくらまつり)】

篠津の知名度を上げるための取組みとして開催した。
平成19年の集客数は2日間で約3,000人である。(統計なし。)
老人施設からバスで訪れる人がいる。(昔は東京から視覚障害者の方が訪れていた。)
駐車場やトイレ等の整備がない。
駅から離れており、まつりの期間中には交通アクセスに関する問い合わせが多い。
旅行会社の観光コースとして、多気比売神社や氷川神社を巡る企バスツアーが企画されている。

【日常利用等】

河川の中や河川敷にゴミが落ちている。
川の清掃活動や桜や彼岸花の維持管理等は全て地元で行っている。
朝方、散策している人が多い。年配の方が座っていたりもする。(再掲)
河川に入って親しむといった利用は少ない。(再掲)
桜や彼岸花を觀賞するといった目的での利用が多い。(再掲)

アンケート調査の実施に向けた確認

赤堀川の水辺再生の検討に関するアンケートの実施内容について説明を行いました。

目的

赤堀川の「現況」や「将来の姿」等についての意向を把握するために、アンケート調査を実施する。

対象

- ・篠津地区（世帯数）
- ・東部工業団地（法人数）

実施予定

平成 22 年 8 月中旬（配布）～平成 22 年 8 月下旬（回収）

アンケートの内容

22 問の選択式で、自由意見についても伺う。

今後のスケジュールについて

下図の通り、検討会の実施予定について説明を行いました。

第 2 回検討会では、現地見学を実施する予定です。

